



### 県内一のカーネーション生産地をPR

4月22日～5月11日、市役所玄関ロビーに、一の瀬焼の陶器(6窯元の花器)に飾られた色鮮やかなカーネーション(300本)が展示されました。この展示は、J Aにじ花き部会が、うきは市が福岡県最大のカーネーション生産地であること、また、母の日(5月の第2日曜)に向けたPRを兼ねて行ったものです。丹精こめて育てられたカーネーションは、市役所を訪れた方に優しさとの癒しを与えているようでした。

### 伝統を受け継ぐ浮羽おくんち振毛槍



4月11日、五穀豊穡と無病息災を願う伝統の浮羽おくんちが古式ゆかしく行われ、稚児や市無形民俗文化財の振毛槍・子ども楽などの華やかな行列が練り歩き、沿道から声援が送られていました。子どもの振毛槍では、伝統を守るため、練習を積み重ね、本番では、元気な毛槍姿を見せてくれました。



▲十割そばは、山の幸を自分でトッピングして食べました。

区民でおもてなし、  
持木地区のたけのこ掘り

4月12日、妹川の持木区で「持木地区のたけのこ掘り」が行われ、うららかな日の中、市内外から訪れた家族連れなどが旬のたけのこ掘りを楽しみました。参加者は地面から顔を出したたけのこを見つけては、慎重に鍬をいれ掘りあげていました。また、広場では、持木特産の十割そばに、タケノコやダラの芽の天ぷら等の山の幸が入り、大好評でした。地元農産物も販売され、参加者は、山里ならではのイベントを地域のおもてなしにより満喫していました。



十割そばに、タケノコやダラの芽の天ぷら等の山の幸が入り、大好評でした。地元農産物も販売され、参加者は、山里ならではのイベントを地域のおもてなしにより満喫していました。

### 高台のつつじの山庭で、花飾りイベント「田中貴子さんのフレグランス・トークショー」

4月26日、佐藤好英さんが一般開放している山庭「さんだい」で、フランスパヒューマ協会正会員の田中貴子さん(熊本市在住)が、色とりどりの花に囲まれ、講演されました。「花を見るとともに、香りを抽出するとさらに芳香浴としての効果があります。日本に自生するオリエンタルハーブ(げんのしょうこ、どくだみ、わさび等)や野菜や果物からも素敵な香りがとれます。植物の成分が私たちにいやし等たくさんの効能を与えていることを多くの方に知っていただきたいと思います。そして、フランスのように、香り産業で地域おこしや農業の発展もできると考えています。」等と香りに関するエピソードを交えながら、自然豊かな舞台で熱心に話されました。会場は、佐藤さん一家総出で花や木の管理をしたり、さんだい展示館を運営しながら、多くの方に楽しんでもらうために一般開放をしています。

